

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市踊場地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

担当している中田しらゆり地域は、古くから地域活動が活発な地域です。長後街道の沿線は平成 11 年の市営地下鉄開通と長後街道の拡張工事により都心への通勤圏となり、子育て世代など若い新住民が増加しています。それにあわせて子育て支援の需要が増加し、また新住民が町内会をはじめとした地域組織にいかにもスムーズに溶け込むことが出来るかが課題となっています。

一方で葛野地区周辺やしらゆり地区など幹線道路から遠い地域は、高齢化が進んでいます。特にしらゆり地域は団地を除いて泉区で一番高齢化が進んでおり、また坂が多く閉じこもりやすい地形ということもあり、介護予防や支援が必要な高齢者の早期発見が課題です。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

中田・しらゆり地区で開催される様々な地域イベントやサロンなどへ積極的に参加し顔の見える関係を作るとともに、情報の収集と発信も行いました。

子どもの分野については、子育てネットワークへ参加し地域情報や、親子サークルなどからお母さん方の生の声を聞き、地域支援チームにて情報共有を行いました。そうした子育て世代の方を地域ケア会議や地域の新しい活動などへ参加を促し活動を通し地域との繋がりを持ってもらいました。

子育てサロンなどの事業に参加いただいた親御さんから相談を受けた際や、障がい児の放課後活動の相談を受けた際には、コーディネーター・サブコーディネーターが対象となる地域情報や関係機関についての情報提供を行いました。

#### (2) 各事業の連携

毎月 6 職種会議を開催し、地域情報の共有等を行いました。

地域の様々な活動に、包括スタッフと 2 名のコーディネーターが分担して参加しました。地域ケア会議の開催や、自主事業「俺のそば打ち」等、各事業が協力して実施しました。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

包括支援センターの職員1名が欠員となりました。施設全体研修として、泉区歴史の会を招いた「地域を知る」や「パワーハラスメント研修」等を開催しました。

### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

中田・しらゆり両地区の地域福祉保健計画に参加しました。  
中田・しらゆり子育てネットワークの事務局として参加しました。  
中田連合地区経営委員会中田かわら版部会に協力をしました。  
中田地区経営委員会福祉部会から独立した地域福祉保健推進委員に参加しました。  
泉区障がい児余暇活動支援事業「ジュニアフレンド」に参加しました。

### (5) 区行政との協働

中田しらゆり各地域にはコーディネーターが支援チームに参加しました。  
中田白百合子育てネットワークでは、外遊びの会に参加しました。  
生活支援として、しらゆり地区食事会の送迎を試験的に開始しました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

前年度までの事業は継続しました。  
歌の会「みんなで歌おう会」、小学生以上を対象とした「おどりば体験 kids'」は参加希望も多く順調に開催しています。  
男性の閉じこもりや介護予防、地域の仲間づくりを進める「俺のそば打ち」を包括支援センター・生活支援事業と共催で開催し、自主グループ化しました。  
視覚障がい理解、障がいボランティア講座を泉区社協と共催で開催しました。  
法人内職員の普及員により、普通救命講習会を開催しています。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

インターネットサイトに加え、受付にタッチパネル式のモニターを設置し、その場でも貸館利用状況や団体情報が確認できるようにしています。  
1月に施設利用団体連絡会を開催し、各利用団体に施設をスムーズに活用していただけるように情報提供を行っています。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

障がい向けボランティア講座を開催しました。  
ボランティア希望者には、デイサービスだけではなく、寺子屋やはさみの会、やまぼうしの会といった当プラザの自主事業や利用団体ほか地域のボランティア活動をご紹介します。  
インターネットサイトやおどりは新聞でもボランティア募集を行いました。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

中田連合文化祭をはじめ、地域のイベントには積極的に参加しました。  
インターネットサイト「中田白百合地域情報サイト」を利用しやすいように改良しました。  
受付のタッチパネルでは、利用状況や利用団体情報を更に使いやすく確認できるよう継続的に見直しました。  
おどりは新聞、中田かわら版共に継続して毎月発行しています。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

前任のコーディネーターとの地域へのご挨拶回りや地域サロンへの参加、地域交流との連携（障害事業への参加）包括との連携（健康教室への参加、）等を通し、様々な世代の方々に対しての地域支援、介護予防の促進に努めることができました。  
区域の事業（ducks、オトカレ交流会等）を通し、区内のケアプラザとの連携に努めました。  
しらゆりでの移送支援や新規のサービスB団体等が進んでいる中で、区社協や区役所と打ち合わせの場を設け、日ごろから情報提供等を行うことで、取り組みの共有に努めました。

### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

エリア内の各地域サロンや町内会行事、地区社協の定例会や保健活動推進員事業などに参加し、地域の皆様との顔の見える関係づくりに努めました。  
地域交流との共催事業（俺のそば打ち・はさみの会等）、また包括との共催事業等（宮ノ前テラス講座、JA健康フェスタ等）を通し、地域分析に努めました。

### (3) 連携・協議の場

多世代交流を行っている地域住民主体の団体との定例会や企画、また地区社協が行う様々な活動等に参加し、地域との連携や協議の促進に努めました。地域ケア会議(1/31予定)を通し、それぞれの世代・事情を抱えた方々のネットワークができるよう努めます。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

隣接するケアプラザが関わる事業への参加や、周辺区で地域貢献を行っている施設との関係づくり等を通し、住民の生活範囲に合わせた地域の情報収集に努めました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- ・介護保険事業所、医療機関、障害関係、民生委員など必要に応じて連携、連絡を取り合いました。
- ・利用者が住み慣れた地域で生活ができるよう見守りをしている民生委員とは、情報交換を密に取りました。
- ・地域で活動している各種団体と連絡をとりネットワークを築きました。

#### ②実態把握

- ・来館、訪問での初回面会で主訴を確認し、それまでの経過や生活状況、本人や家族の思いを確認し実態が正確に把握できるようにしました。
- ・関係機関と情報と共有するだけでなく、必要があれば同行訪問も行い地域住民の実態を把握しました。
- ・実態把握後は情報を整理し、関係機関と連絡を取りながら専門的支援が行えるようにしました。

#### ③総合相談支援

- ・地域住民が相談しやすいよう、包括支援センターの名称、連絡先、スタッフ名が分かるようにしました。
- ・相談履歴名簿を活用し、本人、家族、関係機関からの相談や問い合わせに迅速に対応できるようにしました。
- ・部署ミーティングで利用者の情報を共有しました。
- ・毎月実施する部署会議でも利用者の報告を行い、支援の経過を把握しました。

### (2) 権利擁護業務

#### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・地域住民の権利や人権を守るため関係する相談があった時は成年後見制度の案内をしました。
- ・地域サロンや食事会などで消費者被害の情報共有や注意喚起に努めました。
- ・相続、遺言の講座を開催し、その中で泉区版エンディングノートの活用についても講師の方から話しをしてもらい、今後の生活における自己選択・自己決定を考えるきっかけを作りました。

## ②高齢者虐待への対応

- ・ 高齢者虐待を疑われる報告があった場合、早急に訪問し現状の把握をしました。
- ・ 虐待を受けた人、虐待をした人、双方の話しを伺い解決にむけた支援を行いました。
- ・ 介護者懇談会を月に1回開催し、介護者負担の軽減を図り虐待防止に努めました。

## ③認知症

- ・ 認知症の方が出来るだけ住み慣れた地域で生活できるよう、地域でイベントなどを開催しました。
- ・ 講座などを通して地域住民の認知症の理解が深まるように働きかけをしました。
- ・ 認知症サポーター養成の依頼があった時は開催できるよう積極的に対応しました。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 要支援者見守りシステム部会に参加し、地域での見守りネットワークに協力しました。
- ・ 地域サロン、民生委員の定例会、地域の会議などにできるだけ参加し連携を図るようにしました。

### ②医療・介護の連携推進支援

- ・ 必要時は泉区在宅医療相談室と連携を図りました。
- ・ 医療機関からの在宅への退院時は、スムーズに在宅生活に入れるよう事前調整を行いました。
- ・ 医療機関間からの問い合わせや相談があった場合、個人情報に注意したうえで対応しました。

### ③ケアマネジャー支援

- ・ 月1回、ケアマネジャーの連絡会を開催（区内包括支援センター合同開催も含む）し、スキルアップや情報共有が図れるようにしました。
- ・ ケアプラン計画時にインフォーマルサービスも組み込めるようリストを活用してもらいました。
- ・ 必要な地域情報については生活支援コーディネーターとも連携し、ケアマネジャーに情報提供しました。

- ・ 支援困難者をケアマネジャーが一人で抱え込まないように、同行訪問をするなどします。区役所にも相談し多職種で支援できるようにしました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 個別ケース、包括レベルの地域ケア会議を開催しました。
- ・ 開催にあたっては関係機関だけではなく、民生委員・地域住民・法律関係者など幅広い意見が出るよう参加者を考慮しました。
- ・ 参加者が互いにネットワークを広げ、地域で新しい枠組みができるように支援しました。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 適切にアセスメントを行ったうえで達成可能な目標を設定し、本人が意欲を持って目標に向かっていけるよう支援しました。
- ・ 定期的に達成状況を確認し、必要があれば目標の再設定を行いました。
- ・ 過度なサービス利用にならないようにしました。
- ・ 委託した利用に対しても同様である事から、担当ケアマネジャーと共同して自立支援に努めました。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- ・ 介護予防イベントを地域ボランティア、企業、施設の協力を得て、開催しました。総合的な介護予防イベントを地域の皆様と一緒に行うことができました。
- ・ 他施設と連携し、介護予防講座（筋力アップ、格闘技エクササイズ、ロコモ予防、栄養）を開催しました。
- ・ 季節に合わせた遠足を行いました。
- ・ 地域サロンからの依頼には、三職種の特色を生かした内容（介護保険制度、人生計画帳など）と介護予防運動を組み合わせ、地域の方の情報を提供しました。
- ・ 生活支援、地域交流コーディネーターと協働して開催した「そば講座」では、男性ボランティアの育成ができました。
- ・ ふまねっと運動は、参加者、サポーターが増え、継続的に行うことができました。

## 5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

地域の皆様が快適にケアプラザを利用していただくことを第一とし、施設・設備の管理・保守を行いました。具体的には定期清掃や施設の総合的な保守管理については指名競争落札をした業者に依頼し、安全面等で専門的な保守点検が必要な設備については設置メーカーに直接依頼しています。(エレベーター、空調設備、機械警備、自動ドア、など)

### (2) 効率的な運営への取組について

ご利用者様の快適な利用を妨げない範囲での光熱水費の節減に努めました。業務委託に関しても建物設備の維持管理に関する業務委託は指名競争入札を実施し費用の効率を図っています。本年度は施設管理業者の入札を行っています。エレベーターや自動ドアなど安全に関わる部分は設置業者(メーカー)に直接管理を委託しています。

### (3) 苦情受付体制について

苦情については、各事業の責任者が窓口となるとともに、法人の苦情窓口として第三者委員を設置しています。また、区役所やその他関連機関の相談窓口も掲示することで、お客様の声が届くように、またお客様が不利にならないように努めています。また、苦情の実績については運営協議会で報告し、地域の代表者からのご意見を頂き再発防止に努めています。

### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

#### 防犯の体制及び対応

警備会社と委託契約し、365日機械警備を行いました。毎日業務終了後に職員が施設の巡視点検を行い、不審な点がないかチェックするとともに、施錠のし忘れや機械設備や照明の電源切り忘れを予防しました。

#### 防火防災の体制及び対応

法人本部で専任の防災担当者を1名配置し、その指導のもと防災計画を勧めました。具体的には、特別避難所としての備蓄とは別枠で、緊急備蓄として食糧、飲料水を購入しました。また、消防訓練を2回実施し、その内1回は初めて地震による火災を想定した避難訓練を実施しました。

#### 急病者への対応

施設内での急病者は通所介護、地域交流利用者に関わらず、施設内の看護師が対応し、救急隊に繋いでいます。

現在職員の救命講習参加を推進しており、本年度も普通救命講習もしくは上級救命講習に多数の職員が参加しました。

### (5) 事故防止への取組について

事故のリスクが高い通所介護では、事故に至ってしまった事例以外にも事故に至らなかった事例（通称ヒヤリ・ハット）についても即日のミーティングで事故防止委員会を開催し、再発防止を現場で検討しています。この情報は、業務中いつでも閲覧が可能で、常に目を通すことで職員が最新の情報を持つように心がけています。また、月1回行われる、事故防止会議において通所介護スタッフ全員に事故及びヒヤリ・ハットを報告し再発防止の振り返りを行っています。特徴的なものについては更に施設職員全員に周知を図っています。

事業中に発生した事故については、すべて「緊急対応マニュアル」「運転マニュアル」にそって迅速な対応を行うとともに、事故発生後速やかに区に報告を行いました。

また、発生した事故に関しては、「事故分析シート」を用いて様々な視点から事故原因を分析し、職員間で共有することで再発防止に努めました。

年1回、全職員による施設設備危険箇所点検を実施し、危険箇所の対策を行っています。

### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報には細心の注意を払い、以下の取り組みを実施しました

- ・新入職員の研修に個人情報の研修を組み入れ、横浜市長及び法人理事長あての誓約書を取ります。
- ・毎年横浜市作成の個人情報に関するチェックリストを職員全員が行い、意識の向上に努めます。
- ・郵送物やファックスは必ず複数でチェックを行い、誤送付・誤送信を防ぎます。更にファックスについては、内容の一部を意図的に消しこみ、個人の特定を図れないようにします。

(7) 情報公開への取組について

情報開示の申し出があった場合は、個人情報の保護に最大限配慮しつつも、積極的に開示に努めています。本年度は情報開示の申し出はありませんでした。

介護保険事業については、毎年実施される「介護サービス公表」の調査を行いました。また、福祉情報サイト「かながわ福祉情報コミュニティー」に最新情報を掲載しています。

WEB上では、法人情報は法人サイトで、プラザの情報は「中田白百合地域情報サイト」にて日々の事業内容や様子を掲載しています。

(8) 人権啓発への取組について

当法人の理念「あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として、文化的生活を営めるよう、その自立に向けた支援に努める」を念頭に常に人権意識を持ちながら業務を遂行しています。

年に一度、施設全職員を対象とした人権研修を実施しています。本年は、パワーハラメントの研修を実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ゴミルート回収に参加し、ゴミの分別と資源再利用に取り組みました。施設の内外に多数プランターを配置し、季節の草花を植えました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》 職種（常勤）	非常勤プランナー	合計（常勤換算）
4	2（1.2）	7（6.2）

非常勤介護予防プラン作成専任介護支援専門員 2名体制で行いました。

#### 《目標に対する成果等》

- ・適切にアセスメントを行ったうえで達成可能な目標を設定し、本人が意欲を持って目標に向かっていけるよう支援しました。
- ・定期的に達成状況を確認し、必要があれば目標の再設定を行いました。
- ・過度なサービス利用にならないようにしました。
- ・委託した利用に対しても同様である事から、担当ケアマネジャーと共同して自立支援に努めました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありませんでした。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・職員間で利用者の状況の共有をはかり、迅速な対応に努めました。
- ・委託した利用者に関してはサービス担当者会議に参加することで、状況把握に努め、適切な支援に努めました。
- ・意欲を持ち続け、健康的に長く住み慣れた地域で生活ができるよう支援しました。

#### 《利用者実績》

※ 単位数省略して記載。 6月

7月	8月	【単位月人】			
303件	318件	321件	319件	313件	313件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
316件	315件	310件	309件	312件	315件

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

主任介護支援専門員 1名  
 介護支援専門員 3名（常勤専従）

《目標に対する成果》

・特定事業所加算算定事業所として、法令を遵守し質の高いケアマネジメントの実践を行い事業運営いたしました

・要介護者の自立支援に資するケアマネジメントを展開するために丁寧なアセスメントを行いご利用者・ご家族の持てる力を見積もり、ご本人の取り巻く環境や背景を理解し、ご利用者の尊厳の保持できるよう、自己決定によるケアプランの作成をいたしました

・介護支援専門員としての資質向上を目的に、各々が積極的に研修に参加し、自己研鑽を行い事業所内で情報を共有しながら、事例検討やスーパーヴィジョンを実施し資質向上を図りました。

・特定事業所として、2名の実務同行研修 研修生を受け入れました

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●交通費の実費負担の徴収はありませんでした

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所として質の高い支援を行うため、ケア会議には事例検討などを通じ利用者の支援に対して自立支援に資するケアプランの作成に取り組めるよう研鑽し、利用者に寄り添う支援をしております。

サービスの提案に関しては、ご本人の状態を専門的に分析し、ご本人に一番適切なサービスや事業所提案しご本人自ら納得したサービスを決定しております。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
141	142	147	147	148	147
10月	11月	12月	1月	2月	3月
144	146	142	151	151	155

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動・排泄の介助、見守り等）
- 健康状態の確認（バイタルチェック・服薬管理）
- 送迎及び送迎介助サービス
- 食事の提供及び食事介助サービス
- 日常動作訓練（レクリエーション）
- 通所介護サービス計画の作成
- 入浴介助・見守りサービス
- 口腔機能向上加算

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 利用者負担額（1割負担の場合）（1回につき）

サービス提供時間	10:10~15:30	9:25~16:30
	5時間 20分	7時間 05分
要介護① 入浴有	7 1 1 円	8 1 0 円
要介護② 入浴有	8 2 7 円	9 4 2 円
要介護③ 入浴有	9 4 2 円	1,080 円
要介護④ 入浴有	1 0 5 7 円	1,216 円
要介護⑤ 入浴有	1 1 7 2 円	1,353 円

※サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ及び介護職員処遇改善加算（Ⅰ）が含まれます。

- 食費負担 690円/食
- 口腔機能向上加算希望者は、（月2回限度）1回1割負担の場合171円
- 集団レクリエーション費用、紙オムツ代等は徴収していません。
- 機能訓練を目的とした外出の際の飲食費等は自費をいただいています。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:25~16:30 （うち短時間デイサービス 10:10~15:30）

《職員体制》（3月末現在）

	正職員	準職員	非常勤職員
生活相談員	3		
看護師・機能訓練指導員		2	3
歯科衛生士			1
介護員	3	5	10
管理栄養士			1
調理員			4
事務員	1		3
運転手			3

※地域密着型通所介護事業と一部兼務

《目標に対する取組状況》

- 歯科衛生士の定期的な活動により、口腔機能向上の算定が拡大。定着している。
- 理美容の提供（自費）は好評で、設定した曜日以外でもご利用者様の希望に合わせて実施しております。
- 機能訓練として、地域で活動していらっしゃる講師の先生を定期的にお招きしての高齢者向け太極拳教室に加え、ストレッチ体操が始まりました。
- 女性の利用者様には、手先を使用する創作活動として、貼り絵。習字を提供しています。
- 作品はデイルーム内、ケアプラザ内に掲載しています。
- ジクソーパズルを多数用意し、楽しめる環境作りを行いました。
- 将棋、囲碁、麻雀が出来る環境作りを力を入れております。ボランティアさんの協力も得ながら、定着しつつあり男性利用者様の利用も増加傾向にあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 事前見学を実施しています。
- 季節ごとの行事食を年6回（松花堂弁当・クリスマスバイキング）、ご家族を交えての食事会を希望者に実施している。季節に合わせて鍋料理等お出ししています。
- 個別レクリエーションでは、（習字・唄・ゲーム・手芸等）好みの趣味活動を行っています。毎週木曜日には太極拳を行っています。各ご家庭の事情による臨時利用・振替利用をケアマネジャーの指示により受入れます。
- 利用者満足度調査を、年一回行い可能な要望に答えられるようにいたします。
- 希望者に理美容の提供（自費）を行なっています。
- 医療的ニーズの高い利用者の受入を行っています。

《利用者（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
849	866	866	855	809	722	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
746	785	731	726	693	736	9384

● 第一号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動・排泄の介助、見守り等）
- 健康状態の確認（バイタルチェック）
- 送迎・送迎介助サービス
- 食事・食事介助サービス
- 入浴介助・見守りサービス
- 日常動作訓練（レクリエーション）
- 第一号通所サービス（横浜市通所介護相当サービス）計画の作成
- 口腔機能向上加算

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 利用者負担額（1割負担の場合）（1月につき）
  - （要支援1・週1回程度）1,951円
  - （要支援2・週1回程度）1,951円
  - （要支援2・週2回程度）3,998円
 ※サービス提供体制強化加算（I）イ及び介護職員処遇改善加算（I）が含まれます。
- 食費負担 690円/食
- 口腔機能向上加算希望者は、（1月につき）1割負担の場合171円
- 集団レクリエーション費用、紙オムツ代等は徴収していません。
- 機能訓練を目的とした外出の際の飲食費等は自費をいただいています。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:10～15:30

《職員体制》

通所介護事業と兼任のため通所介護事業を参照

《目標に対する取組状況》

内容としては、通所介護事業と同時に行っているため、同等の内容になるが、創作においては、具体案を要支援のご利用者様より提案いただき、作品作りにかかっている。より個別の対応が行えるために、個別の話し合いの充実を図っている。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 通所介護事業（介護給付）と同じ。
- 13:30～15:00において、利用者個々のニーズに応じた趣味の活動（手芸、唄、書道等）を行います。

《利用者（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
27	26	27	27	26	27
10月	11月	12月	1月	2月	3月
25	25	25	28	31	31

● 地域密着型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス（移動・排泄の介助、見守り等）
- 健康状態の確認（バイタルチェック）
- 送迎・送迎介助サービス
- 食事・食事介助サービス
- 入浴介助・見守りサービス
- 個別対応サービス・水分管理・スキンケア・個別運動等への取り組み
- 地域密着型通所介護サービス計画の作成及び支援詳細記録
- 口腔機能向上加算

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 利用者負担額（1割負担の場合）（1回につき）平成29年8月より

サービス提供時間	10:10～15:30	9:25～16:30
	5時間20分	7時間05分
要介護① 入浴有	924円	1,032円
要介護② 入浴有	1,056円	1,182円
要介護③ 入浴有	1,189円	1,339円
要介護④ 入浴有	1,321円	1,496円
要介護⑤ 入浴有	1,454円	1,651円

※サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ及び介護職員処遇改善加算（Ⅰ）、中重度者ケア体制加算、認知症加算（認知症加算非該当の場合は1割負担68円下がります）が含まれます。

- 食費負担 690円/食
- 口腔機能向上加算希望者は、（月2回限度）1回1割負担の場合171円
- 集団レクリエーション費用、紙オムツ代等は徴収していません。
- 機能訓練を目的とした外出の際の飲食費等は自費をいただいています。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:25～16:30（うち短時間利用 10:10～15:30）

《職員体制》（3月末現在）

	正職員	準職員	非常勤職員
生活相談員	3		
機能訓練指導員・看護師		2	3
歯科衛生士			1
介護員	3	2	10
管理栄養士			1
調理員			4
事務員	1		3
運転手			3

※通所介護事業・第一号通所事業（横浜市通所介護相当サービス）と一部兼務

《目標に対する取組状況》

- 朝のちょこっとおやつを用意し利用者様の水分補給に積極的に取り組みました。
- 食事の形態の検討を行い、摂取量の確認、栄養状態を観察しています。
- レクリエーション等は、お一人、おひとりの状態に合わせ、個別の対応をおこなっており、季節感を体験できる取り組みも行いました。
- また、連絡帳には、細かくご様子の記載を行い、報告させて頂いています。
- 医療的ニーズの高い利用者様の受入について検討し、可能な限り要望に対応しました。
- 歯科衛生士の定期的な活動により、口腔機能向上の算定が拡大。定着している。
- 希望者に理美容の提供（自費）を行なっています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 朝のちょこっとおやつを用意し利用者様の水分補給に積極的に取り組みます。
- お一人、おひとりの排泄のリズムを見ながら介助を行います。

- お食事の内容、量などを確認し、栄養状態を観察しています。
- 月に一回の体重測定を行っています。
- タッチングケアを取り入れ、心の不安やストレスを軽減を試みています。
- 個別の支援計画を作成し、ゲーム、工作、運動等個別の対応を行っています。
- 各ご家庭の事情による臨時利用・振替利用をケアマネジャーの指示により受入れます。

《利用者（述べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
217	242	253	261	258	261	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
281	273	270	252	237	231	3036

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市踊場地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
おどりば青年隊	知的障がい児者	56375	地活	65400			56375	
	294人		包括					
	1回600円他		介護					
			生活					
緑の会やまぼうし	ボランティア	13230	地活	13230			13230	
	142人		包括					
	なし		介護					
			生活					
すずらん	高齢者	26306	地活	5806	20500		5000	21306
	154人		包括					
	月100円		介護					
			生活					
いずみ寺子屋	知的障がい児	17500	地活	20300			17500	
	133人		包括					
	月700円他		介護					
			生活					
とんとん教室	子育て中の親子	12100	地活	500	7100		5000	7100
	191人		包括					
	1回100円		介護					
			生活					
親子野菜作り体験塾	親子	146679	地活	46179	70500	30000	105000	41679
	347人		包括					
	3500円		介護					
			生活					
障がい児者余暇支援事業合同外出	知的障がい児者	193776	地活	13776	180000			193776
	27人		包括					
	7500円		介護					
			生活					
歌って回想法	高齢者	126173	地活	12173	114000		20000	106173
	373人		包括					
	6ヶ月2000円		介護					
			生活					
おどりば体験Kids'	小学生	31340	地活	14540	16800		10000	21340
	25人		包括					
	800円		介護					
			生活					
みんなで歌おう会	地域住民	29739	地活		30600		10000	19739
	316人		包括					
	1回100円		介護					
			生活					
普通救命講習	地域住民	5000	地活		5000			5000
	9人		包括					
	なし		介護					
			生活					
視覚障害の理解	地域住民	15440	地活	15440			15000	440
	37人		包括					
	なし		介護					
			生活					

てください。

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市踊場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
すずらん (フラダンス)	高齢者を対象としたフラダンス教室。上達することを目的とせず、体を動かし健康を維持することを目的としている。そのため、1年を通してほとんど同じ曲を練習している。運動の後にお茶のみ会も実施。ボランティア数名で指導している	第1・第3木曜 年間19回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いずみ寺子屋 (知的障がい児)	知的障がい者を持つ中学生を対象とした放課後支援事業。子どもたちの社会交流と親の休養を目的としている。学校が終わった子どもたちがボランティアと一緒にケアプラザに集まり、工作や音楽、ゲームなどを楽しんでいる。	第2・第4木曜日 年間22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おどりば青年隊	知的障がいをもつ中学校卒業～20歳を対象とした事業。中学校を対象とした寺子屋と異なり、買物や料理作りなどをボランティアといっしょに行う。	第4土曜日 年11回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
仕事頑張り隊	知的障がいをもつ学齢期を終了した社会人を対象とした事業。買物や料理作りなどをボランティアといっしょに行う。	第4土曜日 年11回予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とんとん教室	子育て中の親子を対象とした親子遊びの会。子育て中の親子の社会参加、友達作りの場を提供する。しっかり歩ける子どもとよちよち歩きの子どもの2部に別れて、それぞれにあった遊びを提供している。子育てサポートグループ「とんとん」共催	不定期 年8回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子野菜づくり 体験塾	地域の農家より土地を提供していただき、地域の小学校に通う子どもとその保護者が野菜づくりを行う。8月～12月、	月2回 7回実施

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者余暇支援事業合同外出レク支援	障がい児者のグループ合同でバスを借り上げ外出する企画 毎年のたのしみとなっている。	2月 1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸講座OB緑の会 「やまぼうし」	泉区事業「団塊世代パワーのいずみ」の一環として行われた「定年からの園芸講座」のOB会。ケアプラザ3階の植栽剪定をプロ指導で実施。20年度より「親子野菜作り体験塾」や、障害者通所施設ショイカンパニーが借りている、農園の耕作管理支援もを行っている。	第4日曜日年間11回 開催他、野菜作り体験塾の準備役を行う。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
麻雀サロン 「たまりば」	「飲まない、吸わない、賭けない」を合言葉に行う麻雀サロン。夕方の貸館が少ない時間帯を利用。対象を高齢者に限定しないで世代間の交流も行いたい。	第2・第4金曜日 年間22回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域福祉情報サイト	中田・しらゆり地域の情報の発信・事業の紹介・活動への参加・過去の記録の保存と閲覧など、地域活動を活性化するための地域サイトとして作成を行なった。地域の情報ネットを作るツールとなるよう多くの活動グループの参加を進めて行きたい。	一年中

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニアフレンド	泉区社会福祉協議会・地域活動ホームかがやき等との共催事業。泉区在住の障害児の余暇支援をおこなう。	不定期実施 年1回企画

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って回想健康法	高齢者の介護予防・認知症予防のための歌や体操を取り入れた、楽しい健康法	第2・4火曜日 25回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
利用団体発表会	ケアプラザを利用しているサークルの発表の場として、また地域の方が誰でも、無料で観覧可能な（子育て中のお母さんや障がいをお持ちの方でも遠慮せず来てもらえる）場として、実施。	第5火曜日 3回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで歌おう会	ボランティアの伴奏に合わせて歌い、地域での多世代交流の場づくり	第1火曜日 11回開催

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おどろば体験 Kids'	Kids' Factoryと共催で小学生などを対象に、科学実験や自然体験などを通し、携帯ゲームから離れた楽しみを感じてもらう。	8月 1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
普通救命講習会	法人内普及員による、救命講習会	10月 1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
俺のそば打ち	男性の閉じこもりや介護予防、地域の仲間づくりを目的とし、そばの種まきから始め畑作業、自分で育てたそばでのそば打ちまでを行う。	7月から12月 8回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
視覚障がい理解	障がい理解と担い手発掘。 元ガイドボランティアグループや点字サークルの方による福祉体験、また当事者も交えた意見交換を行いました	7月から9月 3回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がいボランティア講座	ガイドボランティアや障がい事業などのボランティアを始めるきっかけづくりのため、専門職や当事者の講話や実際にかかわれるボランティア紹介を行いました。	2月 1回実施

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市踊場地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者懇談会	地域住民	13,081	地活	10,481	2,600		10,481	
	特になし		包括					
	軽食会のみ100円		介護					
			生活					
相続・遺言と エンディングノートの活用	地域住民	0	地活					
	60名		包括					
	なし		介護					
			生活					
RUN伴	地域住民	693	地活	693			693	
			包括					
	なし		介護					
			生活					
オレンジフェス	地域住民	324	地活	324			324	
	100名		包括					
	なし		介護					
			生活					
認知症サポーター 養成講座	地域住民	10,000	地活	10,000		10,000		
	100名		包括					
	なし		介護					
			生活					
ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	27,050	地活	27,050		20,000	7,050	
			包括					
	なし		介護					
			生活					
地域ケア会議	地域住民・事業所	32,615	地活	32,615		24,000	8,615	
			包括					
	なし		介護					
			生活					
俺のそば打ち	地域住民		地活	35839	15000		50839	
	15人		包括					
	1000円		介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市踊場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者懇談会	地域で介護されている家族へ、お互いに話合ったり一息つくことができたりすることで介護を続けられるように働きかけました。介護者かの要望で、施設見学も実施しました。	毎月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
相続・遺言とエンディングノートの活用	泉区版のエンディングノートの活用と普及のために、相続と遺言の講座を企画し、司法書士の方に講演をしてもらい、地域住民に相続・遺言、今後の自己決定の参考になるような内容で講座を開催した。	9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キックオフイベント（オレンジフェス）	認知症になっても変わらない暮らしができるまちづくりの創出のために、子供から大人まで誰でも参加できる場を作りました。プロレス・出店、認知症セミナーなどを行いました。	12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
RUN伴	認知症啓発イベント。認知症の当事者、家族、関係者がオレンジのシャツを着て地域を走りタスキをつなぎました。	9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
俺のそば打ち	男性の閉じこもりや介護予防、地域の仲間づくりを目的とし、そばの種まきから始め畑作業、自分で育てたそばでのそば打ちまでを行う。	7月～2月 15回